

防衛大臣
森本 敏 殿

在沖米海兵隊員による強制わいせつ致傷事件に対する抗議、申し入れ

去る8月18日午前4時半頃、県都那覇市で発生した強制わいせつ致傷事件で、在沖米海兵隊キャンプ・バトラー所属の伍長が緊急逮捕、送検された。

被疑者米兵は今なお否認しているが、住宅街の路上を歩いていた女性の後ろから髪を引っ張って転倒させたうえ、路地裏に連れ込んでわいせつ行為に及んだ疑いがある。犯行態様は計画的かつ悪質で、事実であれば卑劣極まりない凶悪犯罪である。

沖縄では、市民を恐怖のどん底に陥れ、人権蹂躪を重ねる米兵の性暴行事件が幾度となく繰り返されている。もはや、米軍内の規律、組織構造に根本的な問題が所在し、抑制機能を果たさない日米地位協定が犯罪の温床になっている、と厳しく断ぜざるを得ない。日米地位協定の全面的改正なくして、基地あるが故の事件・事故の根絶は不可能である。基地周辺地域で毎週末、米兵らによる喧騒に寄せられる住民からの苦情は、犯罪に怯える悲痛な叫びとしか表現しようがない。

県民の怒りは、すでに受忍限度を超えている。本件について米軍が捜査協力を怠り、厳正な処分が下されないようなことがあれば、日米安全保障体制の維持すら危うくなるほど大きな事件に発展しかねない。そのことを忠告したうえで、私たち沖縄県選出・出身国会議員は強い怒りをもって抗議、申し入れるものである。

記

1. 被害女性へ速やかに謝罪したうえで、完全な補償を行うこと
2. 被害女性の心身のケアが十分になされ、プライバシー保護に努めること。
3. 在沖米軍にあつては綱紀粛正のうえ、実効性ある具体的な再発防止策を沖縄県民に提示すること。
4. 被疑者米兵に対しては厳正な捜査を尽くしたうえで、厳罰をもって処すること。

2012年8月23日

衆議院議員 下地 幹郎

衆議院議員 赤嶺 政賢

衆議院議員 照屋 寛徳

参議院議員 糸数 慶子

衆議院議員 玉城 デニー

参議院議員 島尻 安伊子

衆議院議員 瑞慶覧 長敏

参議院議員 山内 徳信